

今回は職場生活に活かす 7 つの常識「セブンアクト」を 7 回に分けて紹介にします

セブンアクトとは…職場生活の“グレートセオリー”と呼ばれます。

## 6. チームワークはルールを守る心から、連帯感を育てよう。

仲間意識や連帯感は、一人のルール違反が大きくマイナスの影響を与える。全体の約束事を守るだけでなく、さらに、その場のエチケットを、一人ひとりがしっかりと守るときに、大きな力が発揮できるチームワーキングが可能となる。

皆の規律意識が低く、〈これくらいならなあ…〉と安易な妥協をしている職場は、何かとトラブルが絶えないものです。また、結果も付いてきません。友達感覚や仲間意識が強すぎる場合、それはいつしか「なれあい」に移行します。組織の一員として仕事を進めていると、他人の仕事の仕方が気になるものです。しかし周囲のことを気にかけるより、まず自分の持ち場を責任をもってこなしましょう。職場は「共通の目標」達成のためにありますが、共通の目標(大事)を追う以前に、個々人が各自の仕事(小事)をしっかりとこなすことが、全体の利益につながるという理解が大切です。

### 「実行すればこれが身につく」

1. 責任感
2. 自律心

1) 一人のルール違反はどのような影響をあたえますか？

( )

2) 皆の規律意識が低く、安易な妥協をしている職場は何が絶えないですか？

( )

3) 友達感覚や仲間意識が強すぎる場合は？

( )

4) 実行するとなにが身につきますか？

( ) ( )